ISSEC Solutions Techno Management Consulting Seminar
＝自動車ブレーキシステム技術実務講座＝

制動システムの機能設計とＢＢＷ・自動ブレーキの適応技術

◆日時
2019年 9月27日(金)
10：30～16:30

◆会場　産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1－5－1）

講　師　　東京電機大学　工学部　研究員　川口裕氏
(元)トヨタ自動車（株）第２車両技術部(東富士研究所)　主査

◆受講料
１名　　45,000円＋税
2名以上1名　42,000円＋税

案内図

飯田橋駅下車　各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

＜お申込要項＞

・参加ご希望の方は、ＨＰ・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

プログラム

●Study and Learning

Ⅰ．制動システムの機能構成
　１．パワー源（人力、真空圧、空気圧、油圧、電力）
　２．ドライバー意志伝達　　３．力の倍力・変換・伝達・制御
　４．ブレーキ本体の効き、倍力　　５．タイヤ・路面間での制動力発生
Ⅱ．制動システム構成機能の設計　～各機能要素の作動原理と特長～
　１．制動システムの企画・設計手順
　２．ブレーキペダル(ペダル比可変方式)
　３．ブレーキブースター(方式と特長)
　４．ブレーキマスタシリンダー(方式と特長)
　５．ブレーキ配管(分割方式と特長)
　６．油圧制御バルブ（PVとfail-safe機構、LSPV、EBD）
　７．ディスクブレーキの設計手順　　８．ドラムブレーキの設計手順
　９．パーキングブレーキ(方式と特長)　(電動PKB)
　10．制動システム・コンポーネントの最適化（機能・性能・コスト・コンパクト化など）
Ⅲ．制動システム制御技術（各種システムの狙い、構成、制御方法、効果）
　１．事故発生の時間的流れ
　２．ABS (Anti-lock Brake System)
　３．TCS (Traction Cotrol System)
　４．ESC (Electlonic Stability Control System)、VSC、VDIM、法規動向
　５．BAS (Brake Assist System)、方式と特徴、法規動向
　６．PCS (Pre Crash Safty System)、概念・設計思想、法規動向（欧州AEBS）
　　技術開発経緯
　７．ACC、LDPS、LDWS
　８．乗用車自動ブレーキの性能評価方法と評価結果（EuroNcap、JNcapの最新動向）
Ⅳ．Brake by Wire制御システム（作動概念、応用システムと作動原理、電動ブレーキ他）
Ⅴ．回生制動協調制御システム（作動概念、新型プリウス・各社方式と特徴、企画設計方法）
Ⅵ．自動運転システムにおける自動ブレーキの役割と今後の課題
Ⅶ　車両挙動可視化(事故時挙動、車輪荷重変化、ABS有無の差など動画)
　・　参考・引用文献の紹介

●Solution and Consulting /質疑応答

お申込・お問合せは
主催　ISS 産業科学システムズ　TEL (03)3264-5635　FAX (03)3264-5675
http://www.ebrain-j.jp /　Email: *uketsuke@ebrain-j.jp*

申込書　FAXは　03-3264-5675

講座参加申込書　制動システムの機能設計とＢＢＷ・自動ブレーキの適応技術

セミナーコード
1101-190927

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。　2019/9/27　ISS

社名		所在地	〒	電話	（　　） －
No.	所属部課（正式名称）	氏　名	E-mail　アドレス		
				FAX	（　　） －
窓口部署				お支払予定	当日ご持参　銀行振り込み

この講座をお知りになった媒体を〇で囲んでください　パンフ　はがき　Eメール　ホームページ　検索サイト(　　)　その他